

1 化学品及び会社情報

製品識別子

商品名: Pyridinium dichromate

製品番号: L15132

CAS 番号:

20039-37-6

EC 番号:

243-478-8

該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途.

特定された用途: SU24科学研究と開発

安全データシートの供給元の詳細情報

製造者/納入者:

Alfa Aesar

Thermo Fisher Scientific Chemicals, Inc.

30 Bond Street

Ward Hill, MA 01835-8099

Tel: 800-343-0660

Fax: 800-322-4757

Email: tech@alfa.com

www.alfa.com

その他の情報問い合わせ先: 健康、安全および環境部

緊急通報用電話番号:

通常勤務時間には、健康、安全、環境部門に、通常勤務時間後は、ケムトレック Carechem 24 +81 345 789 341

2 危険有害性の要約

純物質または混合物の分類



竜巻火炎

酸化性固体 区分2

H272 火災助長のおそれ: 酸化性物質



健康に危険

発がん性 区分2

H351 発がんのおそれの疑い



腐食

皮膚腐食性/刺激性 区分1B

H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷



環境

水生環境有害性(急性毒性) 区分1 H400 水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性(慢性毒性) 区分1 H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

(2ページに続く)

商品名: Pyridinium dichromate

(1ページの続き)



感作性(皮膚) 区分1

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

Directive 67/548/EEC (危険物質の分類、包装、表示に関するEU指針) または Directive 1999/45/EC (EU危険混合物の分類、包装、表示に関する指針) に準じた分類



T; 毒性が強い

R49: 吸い込んだ場合に発ガン性の可能性



C; 腐食作用

R34: 腐食作用の原因



Xi; 過敏性物質

R43: 皮膚接触により感作作用の可能性あり



O; 火災を起こす

R8: 可燃性成分と接触した場合に火災の危険



N; 環境に悪い

R50/53: 水生生物に毒性が非常に強く、水域で長期にわたり有害作用をおよぼす可能性あり

Carc. Cat. 2

人と環境にとって特に危険なものに関する情報: 情報なし
分類されていない他の危険有害性 既知の情報は

ラベル要素

EU ガイドラインによる目印:

製品のイニシャルおよび危険表示:



T 毒性が強い
O 火災を起こす
N 環境に悪い

R (リスク) 率:

49 吸い込んだ場合に発ガン性の可能性

8 可燃性成分と接触した場合に火災の危険

34 腐食作用の原因

43 皮膚接触により感作作用の可能性あり

50/53 水生生物に毒性が非常に強く、水域で長期にわたり有害作用をおよぼす可能性あり

S (安全) 率:

53 暴露は避ける、使用前に特別な指示を受ける

17 可燃性成分から遠ざける

20 作業中は飲食しない

26 眼に入った場合にはすぐに水でよく洗い、医者に相談する

36/37/39 作業中は適切な保護服、保護手袋および保護メガネ/顔カバーをする

45 事故あるいは気分がすぐれない場合にはすぐに医者と呼ぶ (できれば、このラベルを示す)

57 環境汚染を防ぐために、適切な容器を使用する

(3ページに続く)

商品名: Pyridinium dichromate

(2ページの続き)

分類システム:

HMIS評価 (音階 0-4)

(危険な物質の証明のシステム)

HEALTH	3	健康 (急性) = 3
FIRE	2	引火性 = 2
REACTIVITY	3	物理的危険性 = 3

その他の危険性

PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント

PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし

vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

3 組成及び成分情報

化学的特性: 化学物質

CAS 番号表示

20039-37-6 Pyridinium dichromate

ID 番号

EC 番号: 243-478-8

4 応急措置

応急手当処置に関する説明

一般情報: プロダクトの付着した衣類は速やかに脱ぐこと

吸い込んだ場合:

外気を送り込み、同時に人工呼吸、温める。状態がよくなる場合には医師に相談する

即刻医師の忠告を受ける

皮膚が触れた場合:

即刻石鹼と水で洗い、よくすすぐ

即刻医師の助言を受ける

眼に入った場合: 眼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぎ、医者に相談する

飲み込んだ場合: 医者の治療を受ける

医師への指示事項:

最も重要な急性及び慢性の症状及び影響

重篤な皮膚の薬傷を起こす。

重篤な眼の損傷

何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 追加的な関連情報は得られていません。

5 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤: CO₂, 消火粉末剤あるいは水放射。火が大きい場合には水放射もしくは耐アルコール性泡を使用

安全上の理由から不適切な消火剤: 含ハロゲン炭素化合物の消火器

本化学物質または混合物から発生する特別な危険性

この物質は、酸化剤であり、還元薬品や可燃物との反応の熱で、点火を引き起こす可能性がある。

本製品は火災に関与している場合は、次のリリースすることができます。

一酸化炭素と二酸化炭素

酸化窒素 (NO_x)

酸化クロム

消防士向けアドバイス

特別な保護装備:

酸素ボンベ付き呼吸保護装備を着用

(4ページに続く)

商品名: Pyridinium dichromate

完全防護服を着用

(3ページの続き)

6 漏出時の措置

個人的予防措置、保護具及び応急処置法

防護服を着用。防護服を着用していない人は近づけない

十分な換気を心がける

環境関連予防措置: 製品が下水処理施設や河川に流れ込まないようにする

封じ込め及び浄化のための方法及び材料:

中和剤を使用

13 項に下がい汚染材は廃棄物として処理する

十分な換気を心がける

二次災害の防止策:

酸化物の働きをし、木、紙、脂肪などの有機物質を腐食する

可燃性成分から遠ざける

他のセクションへの言及

安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照

人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照

廃棄処分に関しては 13 項参照

7 取扱い及び保管上の注意

取り扱い方:

安全操作のための予防措置

乾燥した保護ガスのもとで取り扱う

容器は密閉状態に保つ

よく密閉した樽の中で涼しく乾燥した場所に保管する

作業場では十分な換気、埃を吸い取るよう心がける

容器は十分に注意しながら開封し、取り扱う

火災および爆発防止に関する注意事項:

成分、プロダクトは燃焼成分の発火温度を下げる事ができる

この物質は、酸化剤であり、還元薬品や可燃物との反応の熱で、点火を引き起こす可能性がある。

混融危険性を含めた安全貯蔵条件

保管:

保管スペースおよび容器に関する要求事項: 特別な要求事項なし

同じ場所に保管する際の注意事項:

可燃性成分と離して保管する

還元剤と離して保管する

有機体原料と離して格納すること。

金属の粉からと離して格納すること。

水と離して保管する

酸化成分と離して保管する

保管条件に関するその他の注意事項:

乾燥した不活性ガスの中で保管する

プロダクトは吸湿性である

容器は密閉した状態に保つ

よく密閉した樽の中で涼しく乾燥した場所に保管する

湿度と水から保護する

専門家あるいはその代理者しか近づけない状態で施錠をし保管する

特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

商品名: Pyridinium dichromate

(4ページの続き)

8 ばく露防止及び保護措置

技術設備の形体に関する追加注意事項:

危険薬品から現れた化学ガス煙を適切に操作すれば、1分あたり少なくとも100フィートの表面速度がある。

管理パラメーター

作業場において限界値の監視を要する成分:

20039-37-6 Pyridinium dichromate (100.0%)

OEL (J)	長期値: 0.01 mg/m ³ as Cr
PEL (USA)	長期値: 0.005* mg/m ³ 最大許容濃度: 0.1** mg/m ³ *as Cr(VI) **as CrO ₃ ; see 29 CFR 1910.1026
REL (USA)	長期値: 0.001 mg/m ³ as Cr; See Pocket Guide Apps. A and C

追加注意事項: データなし

暴露管理

人的保護装備:

一般防止措置および衛生措置:

化学製品を取り扱う際の一般的な注意事項を厳守のこと

食物、飲み物、飼料からは遠ざける

汚れのしみ込んだ衣類は即刻脱ぐ

休憩の前、作業終了後には手を洗う

防護服は別に保管する

眼に入らないよう、また皮膚に接触しないよう注意する

人間工学的に適切な作業環境を維持する。

呼吸保護器具: 濃度が高い場合には呼吸保護装置を付ける

短時間使用時に勧めるフィルター装置:

型P100 (米国) またはP3 (EN143) エンジニアリングのコントロールにバックアップとしてcartidgesと呼吸器を使用してください。空気浄化呼吸器が適切かどうかリスクアセスメントを決定するために実行されるべきです。のみを使用する機器は、適切な政府の基準の下でテストされ承認。

手の保護:

保護手袋は使用する度に問題ないかをチェックすること

適当な手袋は材質だけではなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異なる

手袋材 ニトリルゴム

手袋材の浸透時間 (分単位) 480

グローブの厚さ 0.11 mm

眼の保護:

密閉式保護めがね

完全な顔の保護

体の保護: 作業保護服

9 物理的及び化学的性質

基本的な物理及び化学特性に関する情報

一般指示事項

外観

形:	結晶
色:	オレンジ
におい:	決まっていない

(6ページに続く)

商品名: Pyridinium dichromate

(5ページの続き)

嗅覚閾値	決まっていない。
pH-値:	情報なし
状態の変化	
融点/融解範囲:	ca 145-147 °C
沸点/沸点範囲:	決まっていない
昇華温度/開始時:	未測定
発火性 (個体、気体):	可燃性成分と接触した場合に火災の危険
発火温度:	未測定
分解温度:	未測定
自然発火性:	決まっていない。
爆発の危険:	決まっていない。
爆発限界:	
下限:	未測定
上限:	未測定
蒸気圧:	情報なし
密度:	決まっていない
相対的密度	決まっていない。
蒸気密度	情報なし
気化速度	情報なし
以下成分における消和性/との混和性	
水 約 20 °C:	943 g/l
分配係数 (n-オクタノール/水):	決まっていない。
粘性:	
力学的:	情報なし
運動性:	情報なし
他の情報	追加的な関連情報は得られていません。

10 安定性及び反応性

反応性 火災助長のおそれ:酸化性物質

化学的安定性 推奨保管条件下では安定である。

熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの保管および取り扱いでは分解しない

危険反応の可能性

強酸化剤と反応

還元剤と反応

燃焼成分と反応

避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。

不適合物質:

Flammable substances

薬品の減少

水/水分

薬品の酸化

有機体原料

金属粉末

危険な分解生成物:

一酸化炭素と二酸化炭素

硝気

酸化クロム

商品名: Pyridinium dichromate

(6ページの続き)

11 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性: 飲み込んだ場合、口内およびのどに強い刺すような痛み、同時に食道および胃に穿孔の危険

分類上の LD/LC50 値: データなし

皮膚刺激または腐食: 重篤な皮膚の薬傷を起こす。

眼刺激性または腐食: 重篤な眼の損傷

感作作用: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

生殖細胞変異原性: 影響は知られていません。

発がん性:

発がんのおそれ

EPA-A: 人間の発癌性物質: 疫学研究からの十分な証拠は、曝露と癌間の因果関係のある結合を立証するための疫学研究。

IARC-1: 人間発癌性: 発癌性についての十分な証拠

ACGIH A1: 確認された人間の発癌物質: 曝露した人間に関する疫学研究を基礎とするか、あるいはその臨床証拠で示されているように、人間にとって薬品は、発癌性がある。

NTP-K: 発癌性があると既知: 人類研究からの十分な証拠。

生殖毒性: 影響は知られていません。

特定標的臓器系に対する毒性 - 反復曝露: 影響は知られていません。

特定標的臓器系に対する毒性 - 単回曝露: 影響は知られていません。

吸引性呼吸器有害性: 影響は知られていません。

準急性から慢性の中毒 影響は知られていません。

毒性に関する補足注意事項:

我々の知っている限りでは、この薬物の急性・慢性の中毒は、十分に知られていない。

12 環境影響情報

毒性

水生生物に対する毒性: 追加的な関連情報は得られていません。

持続性及び分解性 追加的な関連情報は得られていません。

環境システムにおける作用:

生体内蓄積能 追加的な関連情報は得られていません。

土壌内移動性 追加的な関連情報は得られていません。

生態毒性作用:

注: 魚類に対して毒性が非常に高い

その他のエコロジーに関する注意事項:

一般注意事項:

地下水、河川あるいは下水設備に流してはならない

水への危険度分類 2 (ドイツの規定) (自己査定): 水に対する危険性あり

地下に少量流れ込んでも飲料水を汚染する

水域においては魚やプランクトンにも毒性がある

長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

環境へ悪影響をおよぼすことは避けるべきである

水生生物にとり非常に毒性が高い

PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質) 及び vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質) アセスメント

PBT (残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし

vPvB (高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

他の副作用 追加的な関連情報は得られていません。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

勧告:

特殊廃棄物回収業者に引き渡すか、危険物質集積所に持ち込む


(8ページに続く)

商品名: Pyridinium dichromate

(7ページの続き)

関係当局の規則に従い、特別処理をおこなわなければならない
適切な処置を受けるには、州、地方か国の規則にのっとること。
洗淨されていないパッケージ:
勧告: 関係当局の規則に従って処分する

14 輸送上の注意

UN 番号 IMDG, IATA	UN3085
国連出荷正式名 IMDG, IATA	OXIDIZING SOLID, CORROSIVE, N.O.S. (Pyridinium dichromate)
輸送の危険性クラス 分類 危険物ラベル IMDG, IATA	5.1 (OC2) 可燃性 (酸化) 作用成分 5.1+8
	
Class Label	5.1 Oxidising substances. 5.1+8
パッケージの分類 IMDG, IATA	II
環境危険:	この成分は環境に毒性がある
ユーザー用特別予防措置 EMS (電子メールサービスナンバー) 番号:	警告: 可燃性 (酸化) 作用成分 F-A,S-Q
マルポール条約 (MARPOL73/78) 付属書II及び IBCコードに 準じたバルク輸送	情報なし
UN "模範規制":	UN3085, OXIDIZING SOLID, CORROSIVE, N.O.S. (Pyridinium dichromate), 5.1 (8), II

15 適用法令

該当純物質または混合物に対する安全、衛生及び環境規制・法律
化審法

既存化学物質

20039-37-6 | Pyridinium dichromate

特定化学物質 物質は含まれていない

監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質 物質は含まれていない

優先評価化学物質 物質は含まれていない

白物質 物質は含まれていない

既存化学物質安全性点検結果 (分解性・蓄積性) 物質は含まれていない

既存化学物質安全性点検結果 (毒性) 物質は含まれていない

(9ページに続く)

商品名: Pyridinium dichromate

(8ページの続き)

EU ガイドラインによる目印:

製品のイニシャルおよび危険表示:



T 毒性が強い
O 火災を起こす
N 環境に悪い

R (リスク) 率:

- 49 吸い込んだ場合に発ガン性の可能性
- 8 可燃性成分と接触した場合に火災の危険
- 34 腐食作用の原因
- 43 皮膚接触により感作作用の可能性あり
- 50/53 水生生物に毒性が非常に強く、水域で長期にわたり有害作用をおよぼす可能性あり

S (安全) 率:

- 53 暴露は避ける、使用前に特別な指示を受ける
- 17 可燃性成分から遠ざける
- 20 作業中は飲食しない
- 26 眼に入った場合にはすぐに水でよく洗い、医者に相談する
- 36/37/39 作業中は適切な保護服、保護手袋および保護メガネ/顔カバーをする
- 45 事故あるいは気分がすぐれない場合にはすぐに医者へを呼ぶ (できれば、このラベルを示す)
- 57 環境汚染を防ぐために、適切な容器を使用する

国内規定:

使用上の制約に関する注意事項:

青少年の雇用規定を遵守すること
技術資格がある個人による使用のみ。

水質危険等級: 水有害度 2 (自己査定): 水に有害

化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

16 その他の情報

雇用主は、集めた他の情報の補足としてこの情報を使用し、従業員の健康と安全を守り、適切な使用を保証するため、この情報が有用であるかどうか、独立した判断をするべきである。この情報は、正当な根拠なしに与えられ、この物質安全データとの一致、あるいは、他の製品またはプロセスとの組み合わせなき製品の使用は、使用者の責任である。

部門では、安全データシートを発行: グローバルマーケティング部

縮約と二文字語:

ADR: Accord européen sur le transport des marchandises dangereuses par Route (道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定)

IMDG: 危険物の国際海事コード

IATA: 国際航空運送協会

EINECS: European Inventory of Existing Commercial Chemical Substances

CAS: Chemical Abstracts Service (division of the American Chemical Society)

HMS: Hazardous Materials Identification System (USA)

LC50: Lethal concentration, 50 percent

LD50: 致死量は50%

vPvB: very Persistent and very Bioaccumulative

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists (USA)

OSHA: Occupational Safety and Health Administration (USA)

NTP: National Toxicology Program (USA)

IARC: International Agency for Research on Cancer

EPA: Environmental Protection Agency (USA)

酸化性固体 区分2: Oxidising Solids, Hazard Category 2

皮膚腐食性/刺激性 区分1B: Skin corrosion/irritation, Hazard Category 1B

感作性(皮膚) 区分1: Sensitisation - Skin, Hazard Category 1

発がん性 区分2: Carcinogenicity, Hazard Category 2

水生環境有害性(急性毒性) 区分1: Hazardous to the aquatic environment - Acute Hazard, Category 1

水生環境有害性(慢性毒性) 区分1: Hazardous to the aquatic environment - Chronic Hazard, Category 1